

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 タカセ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼国際業務総括部担当 (氏名) 島津 和人 TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,756	1.9	△27	—	△17	—	△56	—
25年3月期第3四半期	6,632	△9.8	214	△18.4	212	△17.3	119	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 24百万円 (△77.8%) 25年3月期第3四半期 111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	△5.67	—
25年3月期第3四半期	11.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第3四半期	9,748	6,838	70.2	684.04
25年3月期	9,734	6,932	71.2	690.03

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 6,838百万円 25年3月期 6,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,000	1.6	15	△93.1	25	△88.4	△45	—	△4.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	10,545,133 株	25年3月期	10,545,133 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	547,176 株	25年3月期	499,215 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	10,033,014 株	25年3月期3Q	10,128,188 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 一般概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の修正や株価の回復などのほか、政府の経済政策や金融政策への期待感から、景況感に明るい兆しが見られるようになってまいりました。また、米国経済が緩やかに回復してまいりましたが、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷などの懸念材料もあり、依然として、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの属する物流業界は、依然として、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による料金低下という厳しい環境の中、物流業務にかかる高度な業務品質の維持・向上を迫られ、期待利益の確保が厳しくなっております。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げ、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果すため、営業力の強化と業務品質の維持・向上に努めてまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、上半期の業況をひきずったかたちで当第3四半期連結会計期間も推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は、国内物流業務にかかる主要顧客との業務取扱が縮小したことのほか、業務委託料の大幅な見直しをおこなったことによる收受料金の低下があったものの、航空輸入等の輸入関連業務取扱増加や利用運送分野での貨物取扱増加があったことにより、前年同期間と比較して1.9%増の67億56百万円の計上となりました。また、利益面におきましては、これまで同様、取扱物量に見合った倉庫保管スペースや労務費の効率化など経費削減に努めたものの、新規取込業務の立上げや物流拠点の移動に想定以上のコストを発生させてしまったこと、利用運送業務における運賃仕入れコストの増大や国内物流事業の営業収益減少にともなう労務コストの削減が思うように図れなかったことにより、営業損益は27百万円の営業損失（前年同期間は2億14百万円の営業利益）を余儀なくされました。また、経常損益は17百万円の経常損失（前年同期間は2億12百万円の経常利益）となり、さらに、四半期純損益は、特別損失に固定資産にかかる減損損失51百万円を計上したこともあり、56百万円の四半期純損失（前年同期間は1億19百万円の四半期純利益）となりました。

② 報告セグメントの概況

A. 総合物流事業におきましては、国内物流業務にかかる主要顧客との業務取扱が縮小したことのほか、業務委託料の大幅な見直しをおこなったことによる收受料金の低下があったものの、航空輸入等の輸入関連業務取扱増加や利用運送分野での貨物取扱増加があったことにより、営業収益は前年同期間と比較して2.8%増の65億83百万円となりました。また、営業総利益は、新規取込業務の立上げや物流拠点の移動に想定以上のコストを発生させてしまったこと、利用運送業務における運賃仕入れコストの増大や国内物流事業の営業収益減少にともなう労務コストの削減が思うように図れなかったことにより、前年同期間と比較して34.6%減の5億81百万円となりました。

B. 運送事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する運送分野を担っており、新規顧客獲得による「まごころ便」の取扱量が増加に転じたことから、営業収益は前年同期間と比較して0.3%増の7億80百万円となりました。また、営業総利益は、配送ルートの見直しや不採算業務の効率化などのコスト改善が成果を上げたことにより、前年同期間と比較して、約5倍の32百万円となりました。

C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っており、国内物流業務にかかる主要顧客との取引縮小を余儀なくされたことから、営業収益は前年同期間と比較して11.3%減の8億99百万円となりました。また、営業総利益は、営業収益の減少により、前年同期間と比較して33.8%減の61百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14百万円（0.1%）増加し、97億48百万円となりました。

この主な要因は、有形固定資産の合計が1億44百万円減少した一方で、未収法人税等が45百万円、投資有価証券が79百万円、投資その他の資産のその他が44百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億7百万円（3.8%）増加し、29億9百万円となりました。

この主な要因は、短期借入金が86百万円、未払法人税等が56百万円、賞与引当金が50百万円減少したものの、長期借入金が3億70百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ93百万円（△1.3%）減少し、68億38百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が四半期純損失による減少56百万円のほか、前期剰余金処分に伴う期末配当金支払による減少1億5百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月8日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,940,087	2,904,438
受取手形及び売掛金	1,086,188	1,077,105
原材料及び貯蔵品	10,268	10,158
前払費用	37,007	41,832
繰延税金資産	56,719	94,397
未収法人税等	472	46,455
その他	118,372	139,386
貸倒引当金	△543	△756
流動資産合計	4,248,572	4,313,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,259,956	8,257,469
減価償却累計額	△5,930,074	△6,057,866
減損損失累計額	△52,617	△104,535
建物及び構築物(純額)	2,277,264	2,095,067
機械装置及び運搬具	2,066,638	2,077,432
減価償却累計額	△1,986,398	△2,001,710
機械装置及び運搬具(純額)	80,239	75,721
土地	1,574,272	1,574,272
その他	377,720	431,465
減価償却累計額	△332,476	△343,745
その他(純額)	45,243	87,720
有形固定資産合計	3,977,019	3,832,781
無形固定資産		
借地権	449,043	458,486
その他	75,998	65,344
無形固定資産合計	525,042	523,831
投資その他の資産		
投資有価証券	499,097	578,913
繰延税金資産	195,534	167,474
その他	300,568	344,740
貸倒引当金	△11,409	△11,813
投資その他の資産合計	983,790	1,079,315
固定資産合計	5,485,853	5,435,927
資産合計	9,734,425	9,748,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	467,510	448,664
短期借入金	649,000	563,000
未払費用	139,378	144,935
未払法人税等	64,142	7,908
賞与引当金	76,653	25,818
役員賞与引当金	18,850	7,500
その他	89,383	88,509
流動負債合計	1,504,918	1,286,336
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	100,000	470,000
退職給付引当金	604,280	560,863
役員退職慰労引当金	93,212	92,755
固定負債合計	1,297,493	1,623,618
負債合計	2,802,412	2,909,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	2,699,485	2,537,073
自己株式	△132,372	△144,686
株主資本合計	6,870,962	6,696,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,426	118,355
為替換算調整勘定	△15,375	24,398
その他の包括利益累計額合計	61,050	142,754
純資産合計	6,932,013	6,838,990
負債純資産合計	9,734,425	9,748,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	6,632,546	6,756,393
営業原価	5,660,916	6,094,014
営業総利益	971,629	662,379
販売費及び一般管理費	757,280	690,050
営業利益又は営業損失(△)	214,349	△27,671
営業外収益		
受取利息	624	616
受取配当金	19,732	15,912
受取賃貸料	3,398	3,018
その他	10,060	10,169
営業外収益合計	33,816	29,716
営業外費用		
支払利息	16,306	11,880
社債発行費	13,776	—
支払補償費	3,791	6,244
その他	2,045	1,462
営業外費用合計	35,920	19,587
経常利益又は経常損失(△)	212,244	△17,542
特別利益		
固定資産売却益	6,140	49
投資有価証券売却益	—	6,327
特別利益合計	6,140	6,377
特別損失		
固定資産除売却損	8,321	13,090
減損損失	—	51,917
特別損失合計	8,321	65,007
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	210,063	△76,173
法人税、住民税及び事業税	85,820	13,552
法人税等調整額	4,710	△32,796
法人税等合計	90,530	△19,243
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	119,532	△56,929
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119,532	△56,929

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	119,532	△56,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,034	41,929
為替換算調整勘定	219	39,774
その他の包括利益合計	△7,815	81,703
四半期包括利益	111,716	24,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,716	24,773
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	6,396,858	53,552	155,567	6,605,978	26,567	6,632,546
セグメント間の内部営業収益又は振替高	8,580	723,966	858,205	1,590,752	96,422	1,687,174
計	6,405,439	777,519	1,013,772	8,196,731	122,989	8,319,721
セグメント利益	888,728	6,346	92,259	987,335	12,311	999,647

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	6,632,546
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,687,174	—
計	△1,687,174	6,632,546
セグメント利益	△28,017	971,629

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△28,017千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	6,571,512	76,472	81,413	6,729,399	26,994	6,756,393
セグメント間の内部営業収益又は振替高	12,349	703,757	817,815	1,533,922	89,774	1,623,696
計	6,583,862	780,230	899,228	8,263,321	116,768	8,380,089
セグメント利益	581,187	32,359	61,034	674,582	13,146	687,729

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	6,756,393
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,623,696	—
計	△1,623,696	6,756,393
セグメント利益	△25,349	662,379

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△25,349千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「総合物流事業」セグメントにおいて、倉庫設備の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において51,917千円であります。